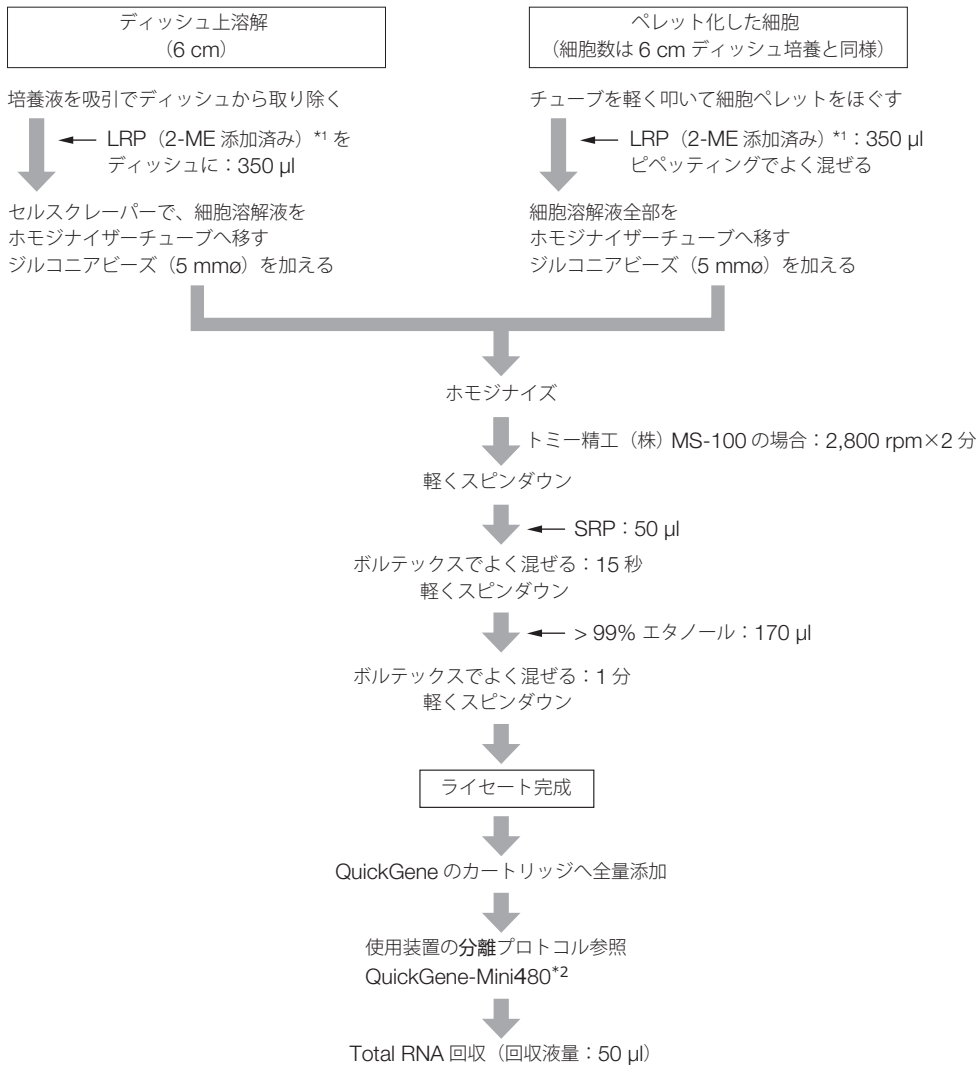


RG-2

COS-7 培養細胞からの total RNA分離 (6 cmあるいは10 cmディッシュ)

プロトコル A



*1 2-メルカプトエタノール (2-ME) を使用前毎に必ず LRP に加えてください。
1 ml の LRP 当たり 10 µl の 2-ME を加えます。

*2 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。
その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

接着細胞を直接 6 cm ディッシュで溶解するか、あるいは 6 cm ディッシュ上のペレット化した浮遊細胞を溶解して total RNA を分離した。

■ 電気泳動図

データなし

■ Total RNA の収量 (DNase 処理あり)

細胞株	細胞数 ($\times 10^6$)	収量 (μg)	
		QuickGene	スピнкаラム法 (A 社)
COS-7	1.0	42.3	51.4

■ タンパク質の混入：A260/280

データなし

■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

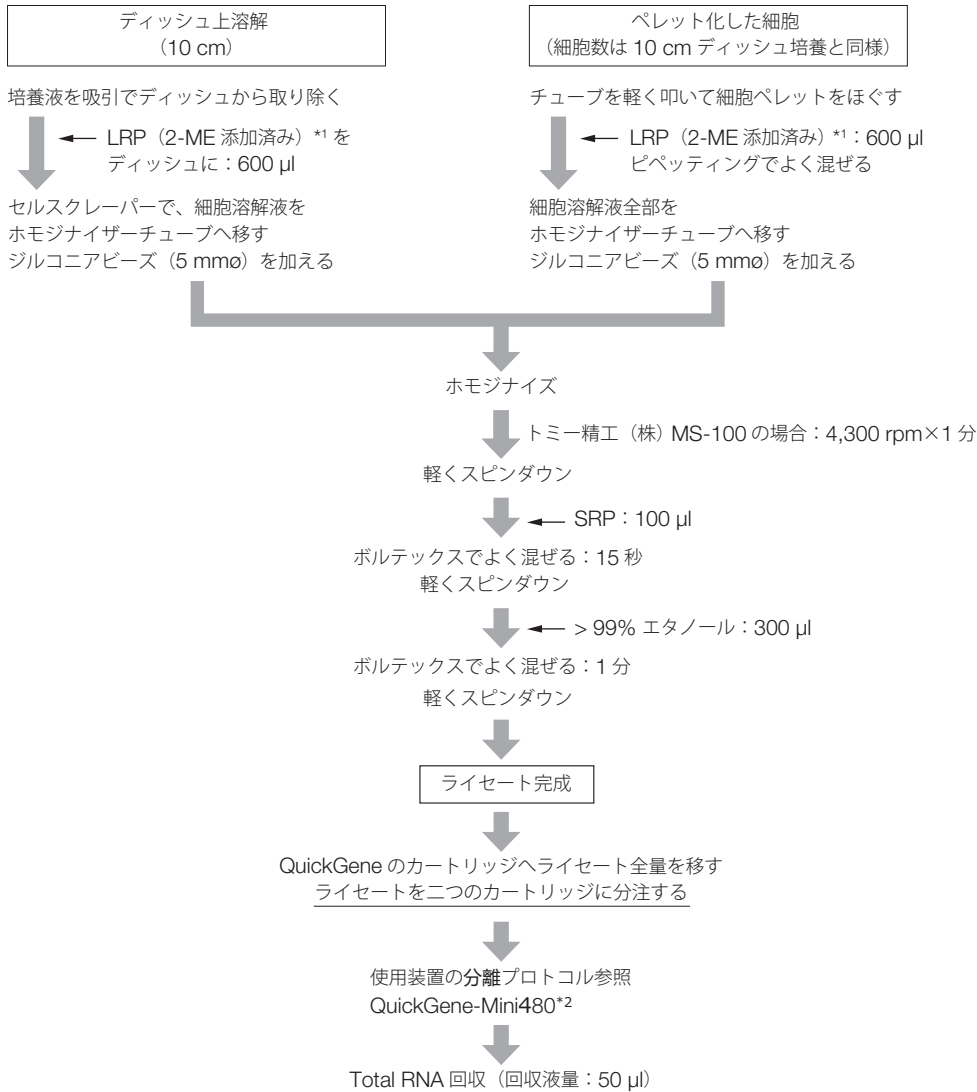
■ その他

データなし

共通プロトコルサンプル

培養 HeLa 細胞 (6 cm あるいは 10cm ディッシュ)、培養 HEK293 細胞 (6 cm あるいは 10 cm ディッシュ)、培養 NIH/3T3 細胞 (6 cm あるいは 10 cm ディッシュ)

プロトコル B



*1 2-メルカプトエタノール (2-ME) を使用前毎に必ず LRP に加えてください。
1 ml の LRP 当たり 10 µl の 2-ME を加える。

*2 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。
その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

接着細胞を 10 cm ディッシュで直接溶解するか、あるいは 10 cm ディッシュ上のペレット化した浮遊細胞を溶解して total RNA を分離した。

電気泳動図

データなし

Total RNA の収量

細胞株	細胞数 ($\times 10^6$)	収量 (μg)			
		DNase (+)		DNase (-)	
		QuickGene	スピнкаラム法 (A 社)	QuickGene	スピнкаラム法 (A 社)
COS-7	2.5	104.2	98.2	90.0	79.0

QuickGene システムを用いて、マイクロアレイ、ノーザンプロットングなどに必要な量の total RNA が得られた。

タンパク質の混入：A260/280

細胞株	細胞数 ($\times 10^6$)	A260/280			
		DNase (+)		DNase (-)	
		QuickGene	スピнкаラム法 (A 社)	QuickGene	スピнкаラム法 (A 社)
COS-7	2.5	2.12	1.97	2.12	2.05

QuickGene システムを用いて、タンパク質の混入の少ない高純度 total RNA の分離ができた。

カオトロピック塩の混入：A260/230

細胞株	細胞数 ($\times 10^6$)	A260/230			
		DNase (+)		DNase (-)	
		QuickGene	スピнкаラム法 (A 社)	QuickGene	スピнкаラム法 (A 社)
COS-7	2.5	2.11	2.03	1.94	2.19

QuickGene システムを用いて、カオトロピック塩の混入の少ない高純度 total RNA の分離ができた。

その他

データなし

共通プロトコルサンプル

培養 HeLa 細胞 (6 cm あるいは 10 cm ディッシュ)、培養 HEK293 細胞 (6 cm あるいは 10 cm ディッシュ)、培養 NIH/3T3 細胞 (6 cm あるいは 10 cm ディッシュ)